

令和6年度 年度

学校評価書

校訓・教育目標

明朗 剛健 立志

ふるさとに根ざし 明るく たくましく生きる生徒の育成

経営の重点事項

ひない力を身に付けさせる！ ～土台（あしば）を強固に～

具現化のための3プロジェクト

【学びプロジェクト】

テーマ：ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を付ける

- (1) 授業改善に関わる組織的研修及び実践
 - ① 各教科の「見方・考え方」を働かせた授業の展開と「きそワンタイム」の充実
 - ② 諸調査のデータ分析と活用、研修成果の情報共有、効果的な研究会の取組
- (2) 基本的な学習習慣の定着
 - ① 「比内中授業の約束」の徹底
 - ② 「家庭学習強調期間」の工夫、ノートを見せ合う会の実施

【心と体プロジェクト】

テーマ：ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる

- (1) 基本的な生活習慣の育成及び進化
 - ① 「いつでもどこでも誰にでも」のあいさつを意識した取組
 - ② 各指導部と連携した諸活動の取組
- (2) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成
 - ① 生徒指導の実践上の4つの視点を生かした取組、アセス等の活用
 - ② 心に響く道徳授業の実践、各種要項に道徳との関連を明示

【生き方プロジェクト】

テーマ：ふるさとに生き、自らを磨く力を付ける

- (1) 居心地のよい集団づくり
 - ① 互いのよさを認め合う場の設定、行事を生かした学級づくり
 - ② 係活動や当番活動の充実、ボランティア活動の推進
- (2) 生き方の探求
 - ① 生徒の声を生かした生徒会・委員会の取組
 - ② とんぶりSDGsを中心とした体験活動の実施・充実

大館市立比内中学校

ア
生徒
の
状況

学校関係者評価 評価区分の 自己評価Aと 自己評価Bの 評価基準	きわめて良好	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好	4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好	3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分	2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する	1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学びプロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を付ける。	中間	おおむね良好	おおむね良好	生徒、先生共に、一生懸命に授業に取り組んでいる。学習課題やめあてを分かりやすいものにし、授業の改善を図ってほしい。また、家庭学習についても工夫してほしい。
	年度	おおむね良好	良好	生徒と先生に笑顔があり、よい雰囲気できいきと授業が行われている。今後は、家庭学習について、自ら学ぶ意識付けをし、学力を付ける工夫を図ってほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 「きそワнтаイム」の充実が「主体的・対話的で深い学び」の充実に直結する。各教科で身に付ける資質・能力を育成するための「きそワнтаイム」の実施を図る。校内研究については、全職員で全校研究会を行う他、引き続き研究部報を通して共通理解を図ることができるようにしていく。 年度初めに授業の規律や習慣についての集いや、全職員で授業の取り組ませ方の共通理解とその徹底をしている。それが家庭学習であまり生かされていない。家庭学習の取り組ませ方や、内容を提示し、自分のためになると実感できる工夫をしていく。			
	【年度末（→次年度）】 全職員で共通理解したことが各教科で実践していけるように、授業改善の更なる向上を図る。「きそワнтаイム」を通して、主体的・対話的で深い学びが実践できるように、教科の壁を乗り越えた校内研究を引き続き行い、各教科の特質を生かした深い学びの展開をしていく。 全職員で学習習慣の定着を図るための実践を行った結果、生徒の授業の規律や授業への取り組む姿勢がよくなった。家庭学習の習慣や内容も向上してきたが、来年度からは家庭学習を「きそワナ学習」と名称を変え、基礎基本の定着とプラスワンの学習ができるように提示していく。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(1) 授業改善に関わる組織的研究及び実践	①授業改善の推進	◇各教科の「見方・考え方」を働かせた授業の展開と「きそワнтаイム」の充実	3	4
	②校内研究の充実	◇研修成果の情報共有、研究の共通理解と実践、効果的な研究会の実施		
(2) 基本的な学習習慣の定着	③基本的な学習習慣の定着を図るための共通理解と共通実践	◇比内中授業の約束の徹底	3	3
	④家庭学習の時間確保と効果的な取組	◇「家庭学習強調期間」の工夫、ノートを見合う会の実施		

全国学力検査及び県学習状況調査

			国語	社会	数学	理科	英語	合計
現中3	全国	R6	101.7		94.3			98.2
	県	R5	107.9	101.8	104.5	104.5	91.4	102.0
	県	R4	99.6	99.5	95.6	97.3	106.9	99.8
現中2	県	R6	99.5	96.0	105.7	89.2	99.8	98.0
	県	R5	100.0	98.3	89.2	89.9	92.9	94.1
現中1	県	R6	94.3	80.6	82.6	102.3	92.2	90.4

(1) 授業改善に関わる組織的研修及び実践

① 授業改善の推進
「きそワンタイム」の取組

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	41.0	44.9	12.2	1.9
年度末	31.6	55.9	12.5	0.0



市教研（10月）

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	14.3	50.0	35.7	0.0
年度末	33.3	50.5	16.7	0.0

② 校内研究の充実
「授業で学ぶ大切さと価値」の実感

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	50.0	40.4	8.3	1.3
年度末	46.1	42.8	9.2	2.0



指定訪問（11月）

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	7.1	50.0	42.9	0.0
年度末	11.1	50.0	38.9	0.0

(2) 基本的な学習習慣の定着

③ 基本的な学習習慣の定着を図るための共通理解
と共通実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	27.6	53.8	17.9	0.6
年度末	23.0	61.2	15.1	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	20.0	42.1	30.0	7.9
年度末	19.7	43.7	28.2	8.5

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	0.0	64.3	35.7	0.0
年度末	11.1	50.0	33.3	5.6

④ 家庭学習の時間確保と効果的な取組

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	26.9	43.6	23.1	6.4
年度末	25.2	40.4	28.5	6.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	11.4	37.9	33.6	17.1
年度末	11.3	34.5	40.8	13.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	0.0	21.4	64.3	14.3
年度末	0.0	38.9	33.3	27.8

Ⅱ 心と体プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる。	中間	おおむね良好	良好	「ひないカ」「あしば」「整」というキーワードにした取組が成果を上げている。生徒の挨拶や落ち着いた学校生活、生徒の自己肯定感も高まっているように感じる。
	年度	おおむね良好	良好	自らの夢を語る生徒がおり、とても成長を感じる。ふるさとキャリア教育を通して、地域との関わりが心を育てている。これからも目標に向かって頑張らせてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	校長先生による、「整」というキーワードが浸透し、生活の規律面を肯定的に捉えている保護者、生徒が8割以上いる状態となった。また、保護者アンケートを見ると、学校外での挨拶に関しても肯定的な意見をいただいている。ただし、否定的な意見も複数ある。これは、意識している生徒とそうでない生徒の二極化が進んでいることが原因であると考えられる。挨拶を行うことの意義を、生徒自身が考える機会を設けたり、生徒主体の活動となるようにしていきたい。清掃に関わる意見が多く上がってきているため、取組だけでなく時間の確保等についても検討の余地があると考えられる。		
	【年度末（→次年度）】	学校内外での挨拶に関して、生徒、保護者、教員とも9割近くが肯定的な意見となった。各委員会活動による成果と考える。後学期から、清掃活動の時間を確保したことで、教師の清掃活動に関わる肯定的な意見が多くなってきた。学校のルールやマナー、時間を意識した行動について、生徒、保護者の数値の低下がわずかに見られる。近年の報道等、学校の校則やルール見直しに関しては、様々な意見がある。既存のものを簡単に否定するのではなく、生徒同士で必要性について真剣に考え、検討する場面を設定することが規範意識の向上に繋がると考える。来年度の検討事案にしていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(3) 基本的な生活習慣の育成及び進化	⑤校内外の相手に伝わるあいさつの実践	◇「いつでもどこでも誰にでも」のあいさつを意識した取組	3	3
	⑥規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践	◇各指導部と連携した諸活動の取組		
(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成	⑦生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組	◇生徒指導上の4つの視点を生かした取組、アセス等の活用	3	3
	⑧道徳教育の充実	◇心に響く道徳授業の実践、各種要項に道徳との関連を明示		



比内中祭(10月)



合唱祭(10月)

(3) 基本的な生活習慣の育成及び進化

⑤ 校内外の相手に伝わるあいさつの実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	55.8	37.2	6.4	0.6
年度末	48.7	38.2	12.5	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.2	51.8	19.1	2.8
年度末	26.1	60.6	12.0	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.6	64.3	7.1	0.0
年度末	10.5	78.9	10.5	0.0

⑥ 規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	55.8	41.7	1.9	0.6
年度末	47.7	49.7	2.0	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	27.7	63.1	7.8	1.4
年度末	26.1	62.0	9.9	2.1

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	71.4	28.6	0.0
年度末	5.3	68.4	26.3	0.0

(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成

⑦ 生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組「充実した学校生活」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	60.3	33.3	5.8	0.6
年度末	57.2	36.2	5.3	1.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	36.2	54.6	7.8	1.4
年度末	35.2	57.0	7.0	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	7.1	85.7	7.1	0.0
年度末	15.8	73.7	10.5	0.0

⑧ 道徳教育の充実「思いやり」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	62.8	31.4	4.5	1.3
年度末	50.0	43.4	5.3	1.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	36.9	58.2	4.3	0.7
年度末	36.6	59.9	2.8	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	7.1	57.1	35.7	0.0
年度末	10.5	63.2	26.3	0.0

Ⅲ 生き方プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとに生き、自ら磨く力を付ける。	中間	おおむね良好	良好	「とんぶりSDGs」等の体験活動を継続し、ふるさと大館・比内のよさを感じてほしい。生徒の心がふるさとから離れないような手立てを考える必要性を感じる。
	年度	おおむね良好	良好	「とんぶりSDGs」をはじめ、総合的な学習の時間等が年々進化し、生徒の成長につながっている。今後もそれぞれの体験活動のバージョンアップを期待したい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	地域に根ざしたふるさとキャリア教育の一環である「とんぶりSDGs」が3年目を迎え、現3年生は3年サイクルの全てを経験することとなる。比内が誇るとんぶりに関する知識や経験を感じている様子が、生徒、保護者、教師のアンケート結果等からも見られ、概ね満足していることが分かる。後期は、生徒会活動の3年生から2年生への引き継ぎの時期となることから、これまでのよい取り組みを継承しつつ、生徒の主体性を生かしたり学校の実態や生徒の現状に一層目を向けたりしながら、常に改善を積み重ねながら充実した活動になるよう支援していきたい。		
	【年度末（→次年度）】	学級活動や生徒会活動において、生徒が学校生活の中で実感したことなどの率直な意見を出し合い、「今の自分たちにしかできないこと」や「今の時代に即した内容に変えていくこと」を重視した活動へと変容しようとしている。そのような生徒側からの発案をもとに、よりよい学校生活を送っていけるよう、今後も生徒と教師間の共通理解を図りながら比内中学校の諸活動を改善していきたい。毎年5月下旬に行う各学年の校外学習・体験学習に向けて、前年度の3学期から総合的な学習の時間を通して比内や大館についての事前学習を積み重ね、ふるさとを担う気概を一層育んでいきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(5) 居心地のよい集団づくり	⑨所属感を高める学級及びその他の集団づくり	◇互いのよさを認め合う場の設定、行事を生かした学級づくり	3	3
	⑩集団や社会の一員としての自覚と責任の育成	◇係活動や当番活動の充実、ボランティア活動の充実		
(6) 生き方の探求	⑪自主的・実践的な態度の育成	◇生徒の声を生かした生徒会・委員会の取組	3	3
	⑫地域に根ざしたふるさとキャリア教育等の充実	◇とんぶりSDGsを中心とした体験活動の実施・充実		



とんぶりSDGs収穫（9月）



とんぶりSDGs販売（10月）

(5) 居心地のよい集団づくり

⑨ 所属感を高める学級及びその他の集団づくり

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	55.8	36.5	5.4	1.3
年度末	53.9	39.5	6.6	0.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	31.2	56.7	9.9	2.1
年度末	25.4	64.1	9.2	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	7.1	78.6	14.3	0.0
年度末	21.1	73.7	5.3	0.0

⑩ 集団や社会の一員としての自覚と責任の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	51.9	40.4	5.8	1.9
年度末	48.7	44.1	6.6	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.4	64.5	5.7	1.4
年度末	31.0	64.1	4.2	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	71.4	28.6	7.1
年度末	15.8	57.9	26.3	0.0

(6) 生き方の探求

⑪ 自主的・実践的な態度の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	50.0	40.4	5.8	3.8
年度末	55.9	35.5	7.2	1.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.3	62.4	14.2	2.1
年度末	28.9	63.4	7.0	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	71.4	28.6	0.0
年度末	21.1	63.2	15.8	0.0

⑫ 地域に根ざしたふるさとキャリア教育等の充実

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	61.5	28.8	7.1	2.6
年度末	59.9	32.9	3.9	3.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	37.6	55.3	5.0	2.1
年度末	38.7	54.9	4.9	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.4	78.6	0.0	0.0
年度末	42.1	47.4	10.5	0.0

Ⅳ 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校の取組を分かりやすく保護者や地域に伝えるとともに、地域の教育力を有効に活用する。 地域の活力となるよう双方向の連携を図る。	中間	おおむね良好	良好	保護者が奉仕活動等に積極的に参加できているので、もっと地域の方にも協力を得ながら連携して活動できると考えられる。PTAと地域が協力して進めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	学年通信や学校報などの発行により、学校の様子が分かる。また、部活動の結果や熊情報なども連絡メールにて配信され、タイムリーに情報を得ることができるので、有り難く感じる。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 学年通信や学校報、各部活動の便り等で、学校の様子や活動の内容を分かりやすく伝えるように努めている。今後も定期的な発行やHP更新、連絡メールの発信を継続してできるように進め、効果的な情報提供に努めていきたい。 親子早期奉仕作業等の保護者の協力体制は非常に良好である。今年で3年目となる「とんぶりSDGs」では、地域の産業の理解や実践ができている。今後も地域の方々の御協力をいただきながら、地域のボランティアへの参加等をも促していきたい。			
	【年度末（→次年度）】 学年通信や学校報等で、生徒の活動の様子を写真等を交えて分かりやすく伝えるように努めている。部活動の活躍や各種大会、コンテスト等も連絡メールを活用して情報提供に努めている。今後、生徒の活躍を伝えつつ、クマ出没等の生徒の安全に関する情報も適宜伝えられるよう工夫していきたい。 地域のボランティア活動への参加について、比内とりの市や施設の除雪、年賀状送付等の活動を行うことができた。今後も地域の方々の御協力を得ながら、地域行事やボランティア活動への参加を生徒に促し、ふるさとへの愛着心を育てていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(7) 保護者・地域等との連携	⑬保護者・地域への情報発信	◇学校報、学年・部活動だよりの内容充実、HP更新、地域の教育資源・人材の活用	3	3
(8) 地域貢献等	⑭地域での活動及び行事への参加、愛着心の醸成	◇地域行事・地域貢献活動への参加と協力	3	3



保育園訪問（10月）



秋田活性化選手権（11月）

(7) 保護者・地域等との連携

⑬ 保護者・地域への情報発信

[生徒] お便りを見せているか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	57.4	33.5	8.4	0.6
年度末	58.9	27.2	13.2	0.7

[保護者] 分かりやすいか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	24.3	65.7	8.6	1.4
年度末	27.5	62.7	9.2	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	42.9	57.1	0.0	0.0
年度末	57.9	42.1	0.0	0.0



PTA授業参観〔1年〕（11月）



PTA授業参観〔3年〕（11月）

(8) 地域貢献等

⑭ 地域での活動及び行事への参加、愛着心の醸成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	32.9	41.9	18.7	6.5
年度末	25.2	43.7	27.2	4.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.6	60.7	10.0	0.7
年度末	32.4	59.9	7.7	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	7.1	71.4	21.4	0.0
年度末	26.3	36.8	31.6	5.3



年賀状ボランティア（12月）



除雪ボランティア（1月）

V 学校運営 学校管理

学校の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校運営に対して主体的な参画をし、組織的に取り組んでいる。 危機管理も含めて、校内外とも安全・安心な教育活動を展開する。	中間	おおむね良好	おおむね良好	安全・安心な教育活動として、通学路の草刈りや整備等、改善が必要である。また、学校入口の看板についても改善の必要を感じる。校舎の外壁の改修も含めて環境整備に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	どのクラスも生徒と先生の笑顔があふれる授業が行われている。教師一人一人の意識が高まり、実践や指導につながったことを感じる。来年度以降も継続した運営をお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	生徒の約93%が、「校訓」「ひない力」「あしば」「整える」などのキーワードを意識した生活を送っている。先生方もキーワードを活用し、様々な情報を発信してくれている。それぞれの学年の特色はあるものの、生徒の表情や行動として表れてきていると感じる。 安全・安心に関わる情報は、連絡メールを活用し、随時、発信している。また、生徒にも様々な機会を捉え、効果的な情報の発信に努めている。PTAや校長会等を活用した要望で、校舎の外壁の改修等に向け、教育委員会も動き始めている。今後も、安全・安心な環境整備に努めていきたい。		
	【年度末（→次年度）】	学校教育目標を具現化するためのキーワードを意識した生活については、生徒及び保護者の90%以上、教師の100%が、肯定的な評価をしている。授業や学校生活などにおいて、笑顔が多く成長を感じている。さらに、笑顔あふれる学校を目指し、地域を元気にしたいものである。 安全面については、熊及びインフルエンザ対応等、迅速にメール等で各家庭に対応等について連絡をし、安心して学校生活を送れるようにした。また、学校入り口看板を取り外し、新しい看板ができるのではないかと感じている。学校だけでなく、様々な角度から市当局に訴える必要がある。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(9) 学校運営への主体的な参画	⑮学校教育目標及び目指す生徒像の実現	◇具現化に向けた共通理解と共通実践、創意ある教育課程編成	3	4
(10) 安全・安心な教育活動の取組	⑯事故・危険発生の未然防止及び対応	◇校内外の安全点検、避難訓練の実施、生徒の安全な活動及び事故防止等の取組	3	3



親子早朝奉仕活動（9月）



生徒総会（11月）

(9) 学校運営への主体的な参画

⑮ 学校教育目標及び目指す生徒像の実現
(あしばを意識した生活)

[生徒]

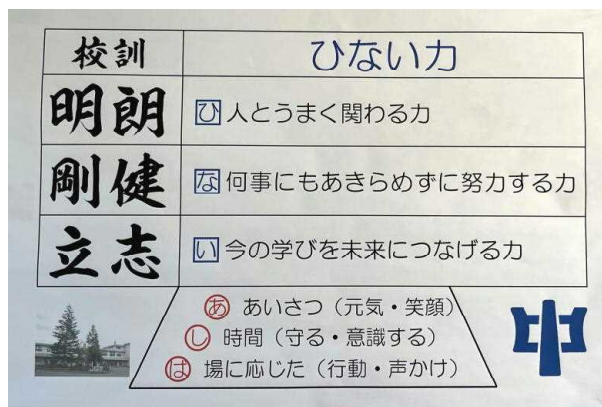
%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	47.7	45.2	5.8	1.3
年度末	41.1	51.0	7.3	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	20.9	61.9	15.1	2.2
年度末	18.3	72.5	7.7	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.6	71.4	0.0	0.0
年度末	52.6	47.4	0.0	0.0



(10) 安全・安心な教育活動の取組

⑯ 事故・危険発生の未然防止及び対応
「健康・安全な生活」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	69.7	25.8	3.2	1.3
年度末	69.5	24.5	4.0	2.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	33.1	56.1	8.6	2.2
年度末	31.7	62.7	4.9	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.4	78.6	0.0	0.0
年度末	31.6	63.2	5.3	0.0



薬物乱用防止教室 (11月)